

第1回宇宙産業・科学技術基盤部会 議事要旨

1. 日時：平成27年3月10日（火） 15：00－16：15

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、青木委員、緒川委員、下村委員、西村委員、松井委員、松本委員、御正委員、山崎委員、渡邊委員

(2) 政府側

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

冒頭、小宮室長挨拶、委員紹介の後、山川部会長より、部会長代理として松井委員が指名された。

(1) 新たな宇宙基本計画の決定について（報告）

資料2-1から資料2-4及び資料5に基づき事務局から説明を行った。これを踏まえ、委員から以下のようなやり取りがあった。

（○：質問・意見等、●：事務局の回答）

○宇宙基本計画において、「安全保障」は狭義の安全保障に基づき記述されているが、宇宙は広義の安全保障にも貢献するため、そのことを踏まえて議論すべき。

○宇宙開発を通じて培われた技術を宇宙分野だけではなく他分野にも展開し、国民の生活向上に広く役に立っているということをアピールしていくべき。

○複数の部会が意見の取りまとめ担当となっている施策については、どのように議論を進めていくのか。

●それぞれの部会の観点から当該施策について議論を行い、その結果を踏まえ宇宙政策委員会において取りまとめていくものと考えている。

(2) 平成26年度補正及び平成27年度の宇宙関係予算案について（報告）

資料3に基づき事務局から説明を行った。

(3) 宇宙基本計画工程表の改訂の進め方について（報告）

資料4及び資料5に基づき事務局から説明を行った。これを踏まえ、委員から以下のようなやり取りがあった。

（○：質問・意見等、●：事務局の回答）

○今回の宇宙基本計画は10年間の計画であり、社会・国際情勢の変化や、技術の進化により、計画期間中に成果目標を再設定する必要性が生じることも想定される。その場合はどのように対応するのか。

●工程表の見直しを進める中で、成果目標の再設定等も含めて議論いただきたいと考えている。

○本部会が担当する項目は非常に多いため、議論を重点化する等計画的に進めるべき。

以 上